

【資料6】

令和4年度
介護保険サービス事業者等集団指導説明資料

科学的介護情報システム (LIFE)について

兵庫県福祉部高齢政策課
介護基盤整備班(高年施設担当)

兵庫、ふぞろいだから「愛」がある。
U5H
United 5KOKU of HYOGO



目次

- 指定基準の定め
- 科学的介護情報システム(LIFE)の概要
- LIFE関連加算
- LIFEの活用事例



指定基準の定め



サービス事業者は、サービスの提供にあたって、PDCAサイクルを構築・推進することで、サービスの質の向上に努めなければなりません。

R3年度介護報酬改定により、各サービスの事業に共通する「一般原則」として、「**介護保険法第118条の2第1項に規定する介護保険等関連情報その他必要な情報を活用し、適切かつ有効に行うよう努めなければならない。**」とされました。

※居宅サービス、地域密着型サービスや施設サービスにおいて同様の規定あり
「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」(平成11年厚生省令第37号)第3条第4項 等



【解釈通知】 ○介護保険等関連情報の活用とPDCAサイクルの推進について

サービスの提供に当たっては、法第118条の2第1項に規定する介護保険等関連情報等を活用し、事業所単位でPDCAサイクルを構築・推進することにより、提供するサービスの質の向上に努めなければならないこととしたものである。

この場合において、「科学的介護情報システム(LIFE: Long-term care Information system For Evidence)」に情報を提出し、当該情報及びフィードバック情報を活用することが望ましい(この点については、以下の他のサービス種類についても同様とする。)

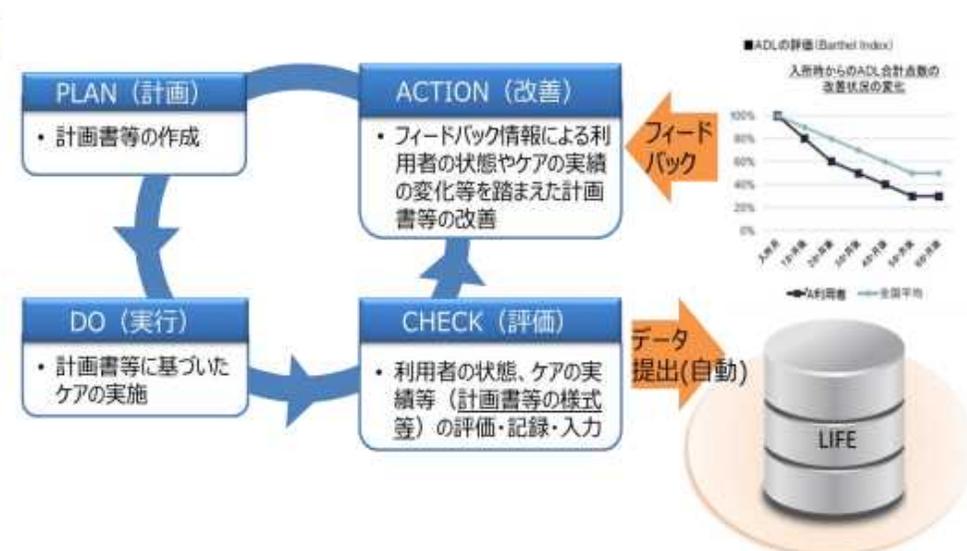
「指定居宅サービス等及び指定介護予防サービス等に関する基準について」(平成11年9月17日老企第25号)第3-3(1) 等

科学的介護情報システム(LIFE)とは

- **介護サービス利用者の状態や、介護施設・事業所で行っているケアの計画・内容**などを一定の様式で入力すると、**インターネットを通じて厚生労働省へ送信**され、入力内容が分析されて、**当該施設等にフィードバック**される情報システム
- 介護事業所においてPDCAサイクルを回すために活用するための**ツール**

LIFEにより収集・蓄積したデータの活用

- LIFEにより収集・蓄積したデータは、**フィードバック情報としての活用**に加えて、**施策の効果や課題等の把握**、見直しのための分析にも活用される。
- LIFEにデータが蓄積し、分析が進むことにより、エビデンスに基づいた質の高い介護の実施につながる。
- 今後、データの集積に伴い、事業所単位、利用者単位のフィードバックを順次行う予定である。



(参考)科学的介護情報システム(LIFE)による科学的介護の推進について
<https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000949376.pdf>

科学的介護情報システム(LIFE)とは



データを提出して終了ではなく、フィードバックを踏まえて計画書等の改善に活かしていただくことで、質の高いケアにつなげていくことが重要

※データを記録することが目的にならないように※



短期的な成果を目的とするものではなく、「利用者毎の状態や意向に基づくケアの計画」→「ケアの実践」→「ケアの評価」→「評価に基づく計画の見直し」という一連の流れ(PDCAサイクル)を継続して実施していくことを通して、中長期的に介護施設・事業所のケアの質を向上していく

LIFE関連加算

	科学的介護推進体制加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	個別機能訓練加算(Ⅱ)	ADL維持等加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	リハビリテーションマネジメント計画書情報加算	理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算	褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	褥瘡対策指導管理(Ⅱ)	排せつ支援加算(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)	自立支援促進加算	かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)・(Ⅲ)	薬剤管理指導	栄養マネジメント強化加算	口腔衛生管理加算(Ⅱ)
介護老人福祉施設	○	○	○			○		○	○			○	○
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	○	○	○			○		○	○			○	○
介護老人保健施設	○			○		○		○	○	○		○	○
介護医療院	○				○		○	○	○		○	○	○

(参考)ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム(LIFE)利活用の手引き

<https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000962109.pdf>

LIFE関連加算

	科学的介護推進体制加算	個別機能訓練加算(Ⅱ)	ADL維持等加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	リハビリテーションマネジメント加算(A)ロ・(B)ロ	褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	排せつ支援加算(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)	栄養アセスメント加算	口腔機能向上加算(Ⅱ)
通所介護	○	○	○				○	○
地域密着型通所介護	○	○	○				○	○
認知症対応型通所介護(予防含む)	○	○	○※				○	○
特定施設入居者生活介護(予防含む)	○	○	○※					
地域密着型特定施設入居者生活介護	○	○	○					
認知症対応型共同生活介護(予防を含む)	○							
小規模多機能型居宅介護(予防含む)	○							
看護小規模多機能型居宅介護	○				○	○	○	○
通所リハビリテーション(予防含む)	○			○※			○	○
訪問リハビリテーション				○				

※予防を除く

LIFE関連加算

LIFEへの情報提出頻度については、加算によって提出頻度が異なりますので、ご注意ください。

なお、情報提供や他の算定要件を満たせていれば、毎月算定が可能です。

加算名	提出頻度(時期)
科学的介護推進体制加算	少なくとも6月ごと
ADL維持等加算	対象利用開始月の翌月から起算して6月目の月の翌月の10日まで
個別機能訓練加算(Ⅱ)、リハビリテーションマネジメント加算(A)口及び(B)口、褥瘡マネジメント加算、褥瘡対策指導管理(Ⅱ)、排せつ支援加算、リハビリテーションマネジメント計画書情報加算、理学療法・作業療法及び言語聴覚療法に係る加算、自立支援促進加算、かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ)、薬剤管理指導、栄養マネジメント強化加算、栄養アセスメント加算、口腔衛生管理加算(Ⅱ)、口腔機能向上加算(Ⅱ)	少なくとも3月に1回

(参考)科学的介護情報システム(LIFE)関連加算に関する基本的考え方並びに事務処理手順例及び様式例の提示について

<https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000949497.pdf>

LIFE関連加算 - よくあるご質問

Q1. LIFE関連加算の要件において、少なくとも6月又は3月に1回の頻度で評価の見直しやデータの提出が求められているが、6月又は3月というのは日数換算(180日又は90日)ではなく、月単位で考えればよいか。

6月又は3月は月単位を指す。

(参考)「LIFEの入力方法に関するQ&A」Q3-2



例えば・・・ 科学的介護推進加算(少なくとも6月ごとに提出)の場合

2/2に評価を行い、3/10までにデータを提出した場合、

8月中に評価を行い、9/10までにデータを提出すれば良い。

※8/2までに評価をしなければならないということではない。

LIFE関連加算 - よくあるご質問

Q2. 利用者が要介護度の区分変更申請を行っている場合に、「要介護度」の欄のデータはどのように入力すればよいか。

当該利用者については、区分変更申請中のため、変更前の要介護度で提出しても、空欄として提出しても、要介護度が確定次第速やかにデータを提出しても、どれも差し支えない。ただし、データの提出が困難であった理由について、介護記録等に明記しておく必要がある。

(参考)「LIFEの入力方法に関するQ&A」Q1-5



LIFEの操作に関するご質問につきましては、LIFEのトップページ→お問い合わせの方へ、からお問い合わせフォームにてお問い合わせください。

LIFEの活用事例

フィードバックの活用

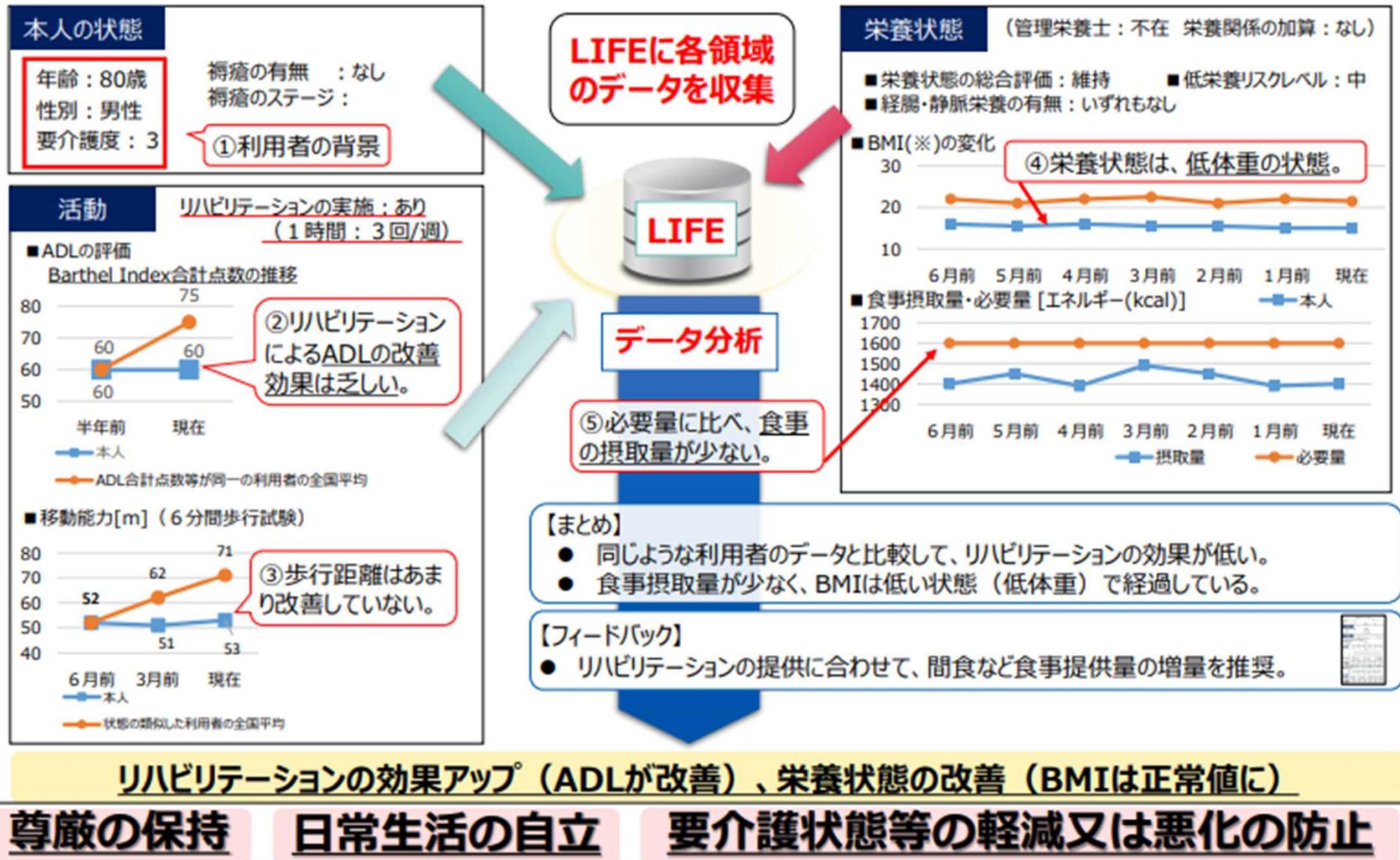
フィードバックは**事業所票**と**利用者票**の2種類から構成されています。
それぞれの概要・活用目的・活用例は以下のとおりです。

	事業所フィードバック票	利用者フィードバック票
概要	利用者のADLや栄養、口腔機能等に関する状態を 事業所・施設単位 で分析し、同様の介護保険サービスを提供する 他事業所・施設との比較結果 や過去からの変化を把握するための帳票です。	ADLや栄養、口腔機能等に関する状態について、 自事業所・施設の利用者個別に分析 し、要介護度等が同程度の 他利用者との比較結果 や過去からの変化を把握するための帳票です。
活用目的	自事業所・施設における特性や、利用者の特徴及びケアの特性を認識し、提供するケアの改善に活かすことが可能です。	各利用者のケアの目標や問題点、提供しているケアや状態を把握し、提供するケアによる改善状況を評価し、必要に応じて目標やケアの見直し等を行うことが可能です。
活用例	<ul style="list-style-type: none"> ・自事業所・施設の利用者像の把握 ・ケアの実施状況の把握 ・ケアの結果の把握 ・ケアの在り方の見直し ・施設内の管理指標としての活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者像や課題の把握 ・ケアの実施状況の把握 ・ケアの結果の把握 ・利用者や家族への説明 ・職員間での情報共有

(参考)ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム(LIFE)利活用の手引き

<https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000962109.pdf>

LIFEの活用事例



(参考)科学的介護情報システム(LIFE)による科学的介護の推進について

<https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000949376.pdf>

LIFEの活用事例

特別養護老人ホーム鈴鹿グリーンホームの事例

(出典)令和4年度科学的介護に向けた質の向上支援等事業研修会

事例の施設の概要

法人名称	社会福祉法人鈴鹿福祉会
施設名称	特別養護老人ホーム鈴鹿グリーンホーム
所在地	三重県 鈴鹿市
開設年	平成5年(1993年)5月
種別	介護老人福祉施設、ユニット型
定員	80床(併設短期入所10床を除く。)
LIFE取組年度	令和2年(2020年)5月

【報告者】

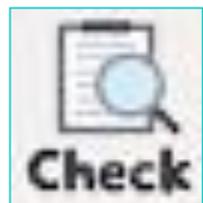
職種：施設長

(保有資格：管理栄養士、介護支援専門員等)

氏名：服部 昭博

利用者データ(LIFE関連帳票)の活用事例③

当ホームにおけるLIFE・関連帳票の流れのイメージ



科学的介護
推進体制に
係る評価

①興味・関心チェックシート、
②口腔機能管理加算(実施計画)、
…⑧自立支援促進に関する評価・支援計画書、
⑨ケアプラン、⑩24時間シート
を逆から順に見ていきました!



LIFE関連帳票



加算算定の有無にかかわらず、LIFE
関連帳票はすべて作成しています

利用者データ(LIFE関連帳票)の活用事例④



STEP1 ケアプランとLIFE関連帳票を確認！

→帳票から気になった点を拾い出す

カウンターに並べて
見てみると、とても
分かりやすいね

ケアプランに位置付けた
方がいいかな？

音楽会に参加されている
のは、ご本人にとってこんな
意味があるのね。。。



めっちゃ、わかりやすいです。

追加しましょう！

音楽会を楽しみにされていて
いつも参加されています。



ケアのポイントやご本人の生活
に対する意味や意義に関する
箇所をマーキング！

そうすることで、ケアプランや24時間
シートに位置付けるべき項目か、
位置付けるべき場合はどのように位置
付けるか、判断しやすくなった！



利用者データ(LIFE関連帳票)の活用事例⑤

STEP2 状態変化の比較と確認

令和3年4月

令和4年4月

現状のケアがご本人の自立支援につながっているかなど、一定期間の状態の変化を確認しました



・変更なし

(6)廃用性機能障害に対する自立支援の取組による機能回復・重度化防止の効果：

☑期待できる



・期待できる項目：

☑基本動作 ☑ADL ☑IADL ☑社会参加



■支援計画



・離床・基本動作：着替えや洗顔、歯磨き、義歯の装着など

できる範囲は自己にて行ってもらい、できないところを支援

・ADL：できる範囲は自己にて行ってもらい、できない範囲での支援を実施

・日々の過ごし方等：



施 訓 染 みの入居者との配席に配慮しコミュニケーションを図る

本人の好みである音楽鑑賞や雑誌の提供など支援



・訓練の提供：

個別機能訓練計画に沿った実施、手引き歩行や立位反転動作など、無理のない範囲内での軽運動、生活リハビリの実施



⑧
自立支援促進に関する
評価・支援
計画書

利用者データ(LIFE関連帳票)の活用事例⑥

令和3年4月

令和4年4月

⑥
排せつの
状態に関する
スクリーニング・
計画書



入居前は終日おむつを使用



リハビリパンツを使用
日中はトイレに誘導



⑤
個別機能
訓練計画書



・歩行時のふらつきが生じており、
両下肢の支持性低下が見られる
(→特に危険度が増す入浴時に注意が必要)



④
生活機能
チェックシート



ADL:日常生活動作の状態を確認

(※⑧自立支援促進に関する評価・支援計画書にも記載有)



ADL 55点

- ・イスとベッド間の移乗
「座れるが移れない(5)」
- ・階段昇降 「一部介助(5)」
- ・更衣 「一部介助(5)」
- ・排便コントロール 「一部介助(5)」
- ・排尿コントロール 「一部介助(5)」

起居動作

- ・起き上がり 「一部介助」
- ・座位 「見守り」



ADL 65点

- ・イスとベッド間の移乗「監視下(10)」
- ・階段昇降 「全介助(0)」
- ・更衣 「自立(10)」
- ・排便コントロール 「一部介助(5)」
- ・排尿コントロール 「自立(10)」

起居動作

- ・起き上がり 「自立」
- ・座位 「自立」



利用者データ(LIFE関連帳票)の活用事例⑦

令和3年4月

令和4年4月

③

栄養・摂食
嚥下スクリー
ング・アセスメント・
モニタリング



低栄養状態のリスクレベル「中」

・体重:39.2kg

・BMI:19.2

摂取栄養量

・エネルギー:1,558kcal

・たんぱく質:53.7g



変化なし

・38.2 kg (▲1.0kg)

・18.7 (▲0.5)

・1,595kcal (+37kcal)

・52.6g (▲1.1g)



②

口腔衛生
管理加算
(実施計画)



口腔機能に関する問題点

- 口腔衛生状態
- 歯の汚れ
- 義歯の汚れ
- 口腔機能の状態
- 口腔乾燥



- 口腔衛生状態
- 歯の汚れ
- 義歯の汚れ
- 口腔機能の状態
- 口腔乾燥



● : 令和3年4月

● : 令和4年4月

利用者データ(LIFE関連帳票)の活用事例⑧

①
興味・関心
チェックシート

生活行為 (主なもの)	している	して みたい	興味 が ある
自分でトイレに行く		●	
一人でお風呂に入る		●	
自分で服を着る	● ●		
自分で食べる	● ●		
歯磨きをする	●		
身だしなみを整える	● ●		
好きなときに眠る	● ●		
家や庭の手入れ・世話		●	●
洗濯・洗濯物たたみ	●		
動物の世話		● ●	
友達とおしゃべり・遊ぶ	● ●		

生活行為 (主なもの)	している	して みたい	興味 が ある
生涯学習・歴史			●
俳句		●	●
書道・習字			●
映画・観劇・演奏会		●	
歌を歌う・カラオケ	●	●	
音楽を聴く・楽器演奏	● ●		
体操・運動	●	●	
散歩	●	●	
野球・相撲等観戦	● ●		
畑仕事		● ●	
旅行・温泉			●

利用者データ (LIFE関連帳票) の活用事例⑨

● : 令和3年4月

● : 令和4年4月

科学的介護
推進体制
に係る評価

【DBD-13 評価】	まったくない (0)	ほとんではない (1)	ときどきある (2)	よくある (3)	常にある (4)
日常的に物事に関心を示さない		● ●			
特別な事情がないのに夜中起き出す	● ●				
特別な根拠もないのに人に言いがかりをつける		● ● ←			
やたら歩き回る			● ● ←		
同じ動作をいつまでも繰り返す		● ● ←			
(以下、任意項目) 同じことを何度も何度も聞く		● ● ←			
よく物をなくしたり、置き場所を間違えたり、隠したりする	● ● ←				
昼間、寝てばかりいる		● ●			
口汚くののしる		● ●			
場違いあるいは季節に合わない不適切な服装をする	● ● ←				
世話をされるのを拒否する	● ● ←				
物を貯め込む	● ●				
引き出しや筆筒の中身をみんな出してしまう	● ●				

利用者データ(LIFE関連帳票)の活用事例⑩

【主な項目の状態変化まとめ】

令和3年4月

・低栄養リスク : 「中」リスク
・ADL(BI) : 55
・DBD-13※ : 8
任意項目含む 15



令和4年4月

・低栄養リスク : 「中」リスク
・ADL(BI) : 65(+10)
※両下肢の支持性低下が見られる
・DBD-13 : 5(▲3)
任意項目含む 8(▲7)



・興味・関心チェックシート
「している」こと



8



11(+3)



「してみたい・興味がある」こと



13



23(+10)



※) 認知症の行動・心理症状を客観的に評価する指標で、13項目について数値評価を行う。得点が低いほど認知症の行動・心理症状が見られない。

利用者データ(LIFE関連帳票)の活用事例⑪

STEP3 専門職と軽くディスカッション♪(確認)



- 音楽会(体操)は特に好んで参加されています。
- 完全ではないですが、できることが増えていっています。
- 亡き旦那さんとのエピソードをお話されているときが最も表情が輝いています。職員もほっこりした気持ちになります。



いいね!

☆ケアワーカー



歩いてトイレに行きましょう...

大相撲を観たり...



量はこのくらい?...

音楽会で懐かしい歌を聴き、体操をして...体を動かされているときはめっちゃ楽しそうです♪



洗濯物の取り入れを手伝っていただいたり...



きゅうりを収穫したり...



いいね!

ご本人の興味や関心があることに着目しながら、ケアプランに位置付けることによって、意欲や生活の充実感を損なうことなく、自立(自律)的な生活を送ることにつながっていると思います。

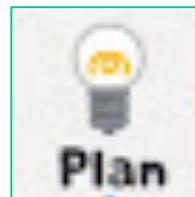


☆ケアマネジャー

利用者データ(LIFE関連帳票)の活用事例⑫

STEP4 ケアプランの改善(原案の作成)

翠色の文字：していること
 紫色の文字：してみたい
 興味のあること



>旧ケアプラン

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	長期目標	短期目標	サービス内容
#1入院中に体力が低下しています。食事や飲み物をキッチンと摂ったり、トイレに行くなど支援が必要な状態です。	(1)身の回りのことが自力でできるようにする。	①排せつや食事・移動が介助で行えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 本人の状態を確認して必要な介助を行う。 食事や排せつの見守り 日中はトイレに付き添い、夜間はおむつを使用、状態を見守り・ポータブルトイレの設置、コールで対応する。(動作を確認しながらできないところは介助をする。転倒しないように見守る。)
			<ul style="list-style-type: none"> 心身の状態に合わせて運動を行う。 離床時間を増やす。 生活動作の訓練、歩行練習
#2入浴したい。	(1)入浴が続けられ、清潔が保てる。	①必要な介助を受けて入浴ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 状態に合わせて入浴方法を検討し、安全に更衣や洗身、移動などができるよう支援する。(転倒に注意する。)

>新ケアプラン

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	長期目標	短期目標	サービス内容
#1在宅生活を延長した生活を送りたい。	(1)健康状態を保つことができる。	①下肢筋力を維持することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 個別機能訓練の実施 生活リハビリの実施 テレビ体操、散歩などへの参加
		②現在の健康状態を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> 心身の観察、健康チェック、配薬・服薬確認 安心できるように接する。
		③栄養状態を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> 栄養ケアの実施
(2)身体の清潔を保つことができる。	(2)身体の清潔を保つことができる。	①支援を受けながら入浴ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ふらつきや転倒リスクに注意する。 マンツーマン入浴の実施 洗髪など一部介助を行う。 ゆっくり入浴する。 身体観察、浴後のケアを行う。

翠色の文字：していること
 紫色の文字：してみたい
 興味のあること

利用者データ(LIFE関連帳票)の活用事例⑬

>旧ケアプラン

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	長期目標	短期目標	サービス内容
#3病状が安定し、食事が進むようにしたい。	(1)安定した体調で生活できる。	①体調管理が行える。	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の状態観察 ・服薬の介助 ・不安がないように適宜声掛けする。

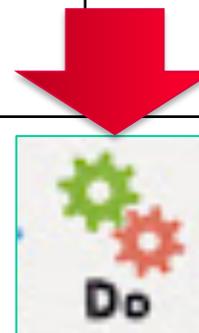
>新ケアプラン

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	長期目標	短期目標	サービス内容
#1在宅生活を延長した生活を送りたい。	(2)身体の清潔を保つことができる。	②トイレで排泄することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄リズムの把握 ・トイレに行きたいという希望に副い、日中はトイレを使用
		③口腔の清潔を保つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアマネジメントの実施(アセスメント、実施、評価)
	(3) 意欲的な生活を送ることができる。	①外出や他者との交流を通じ、生きがいや楽しみを感じられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・他者との接点を多く持つ。 ・会話の機会を持つ。 ・心身の充実感を期待し、タオルたたみ等簡単な生活行為の実施 ・音楽会への参加 ・テレビ鑑賞(映画や演奏会など) ・ホーム周辺の散歩 ・花や野菜作りへの参加



スタッフはLIFE関連帳票に記載されている内容をケアプランに反映していることが理解できた？

ご本人主体、且つ自立支援につながるケアプランに一步近づいた？



LIFEの活用事例

フィードバック帳票の取得方法

- ① フィードバックのダウンロード方法は、LIFEのトップページ＞操作マニュアル等＞操作説明書(初回フィードバックについて)を参照ください。
- ② フィードバック帳票のリリース時期は都度、「お知らせ」にて情報が掲載されています。各加算のフィードバック時期は3か月毎もしくは6か月毎になる見込み。



パスワードを忘れた方へ お問い合わせの方へ 操作マニュアル等

【お問い合わせフォーム】再開のお知らせ
お問い合わせのある方は、本画面右上の「お問い合わせの方へ」を押下し、最初に出てきた画面の右下の「お問い合わせフォーム」を押下してください。
パスワードを忘れた方は、本画面右上の「パスワードを忘れた方へ」を押下してください。

LIFE
科学的介護情報システム

登録済みの方
ログイン

初めてご利用される方
新規登録

専用の起動アイコン(.exe)でシステムを起動する必要があります

お知らせ

2023/01/30

1 1月利用分のフィードバック帳票(暫定版全国集計値)をダウンロードしていただけるようになります。

1月31日にフィードバック帳票(暫定版全国集計値)を掲載します。
提出期限までにデータをご提出いただいた事業所様におかれましてはフィードバック帳票をダウンロードしていただけるようになります。

11月利用分(1月31日掲載)：12月10日までにデータをご提出済み

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

LIFEの活用事例 ・ 県の支援

フィードバックの活用事例集



「ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム(LIFE)の利活用に関する事例集」が厚生労働省のHPで公開されていますので、ご確認ください。

厚生労働省HP>「科学的介護情報システム(LIFE)について」>3LIFEの導入、
入力と評価方法、利活用のマニュアル

<https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000964348.pdf>

県補助金(業務効率化支援事業)における補助率(R4年度の募集は終了しています)



業務効率化支援事業において、補助要件を満たした上で、
「LIFE標準仕様に準拠した介護ソフトを使用してLIFEにデータを提供している
又は提供を予定していること」

○該当する場合:補助率 **3/4** ○該当しない場合:補助率 1/2

詳細は、兵庫県HP(令和4年度在宅介護事業所・介護保険施設における業務効率化支援事業(ICT)の実施について)をご確認ください。 <https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf05/ict.html>

ご静聴ありがとうございました

